

福島第一原子力発電所の状況について（日報）

2024年8月29日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所の状況について、以下のとおりお知らせいたします。

（下線部が新規事項）

【サブドレン他水処理施設の状況】

一時貯水タンク	分析結果	排水開始	排水終了	排水量
B	運用目標値を満足 (採取日 8月23日)	8月28日 午前11時52分	<u>8月28日</u> <u>午後4時32分</u>	<u>695m³</u>
L	<u>運用目標値を満足</u> <u>(採取日 8月25日)</u>	<u>8月30日予定</u>	—	—

【地下水バイパスの状況】

一時貯留タンク	分析結果	排水開始	排水終了	排水量
グループ2	運用目標値を満足 (採取日 8月23日)	8月28日 午前10時27分	<u>8月28日</u> <u>午後4時10分</u>	<u>1,634m³</u>

【構内および海域モニタリング結果の状況】

- 地下水（1～4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス）、排水路、海水（港湾内、港湾外、1～4号機取水口内）、魚介類、海藻類等の分析結果は、至近の分析値と比較して有意な変動なし。
- なお、トリチウムを中心とした拡散状況や海洋生物の状況を今後継続して確認するため、2022年4月から海水（港湾外）、魚類、海藻類のモニタリングを強化している（2022年4月20日から試料採取を開始）。

※サンプリング結果の詳細については当社ホームページをご参照ください。

＜福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果＞

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/analysis/>

＜福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果＞

https://www.tepco.co.jp/decommission/data/daily_analysis/

【原子炉および使用済燃料プールの冷却状況】

＜原子炉＞

- 1～3号機原子炉への注水を継続中（各号機ともに冷温停止状態を継続中）
- 1号機原子炉格納容器においては、原子炉注水量を変更することにより、計画的に圧力抑制室中央部付近（圧力抑制室底部から約4m）を目指し水位低下を3月26日から実施中。その過程では約50cmごと、段階的に8つのホールドポイントを設けることとし、ホールドポイントに向けて水位を低下させる期間と、ホールドポイントにて水位を維持し影響を確認する期間について、各々2週間程度設ける予定。

6月29日に原子炉格納容器水位がホールドポイント3に到達以降、水位を維持した状態で水位低下によるプラントパラメータへの影響を確認し、異常が確認されなかったことから、ホールドポイント4（圧力抑制室底部から約6.7m）に向けた水位低下のため、7月29日、午前10時34分、2.7 m³/hから2.1 m³/hに原子炉注水量を変更した。

7月29日以降、ホールドポイント4（圧力抑制室底部から約6.7m）に向けた注水量変更により水位低下を開始していたが、8月14日頃より水位低下がほぼ横ばいになったことから、8月22日に注水量を2.1 m³/hから1.8 m³/hに変更したが、その後も水位の低下は確認されなかった。

このことから、原子炉格納容器からの漏えいの多くはドライウエル側にあり、圧力抑制室の水位にくらべドライウエルの水位が低い状況にあると推測。圧力抑制室とドライウエルの水位差を圧力抑制室の水位変化により確認するため、下記の通り原子炉注水量を増加させ、水位差の状況を確認する。

圧力抑制室の水位変化確認後、確認前の注水量に戻す。

<原子炉注水変更>

原子炉注水量 (設定幅)	8月30日 注水量変更前	8月30日 注水量変更後	水位変化確認後 到達後
		1.8m ³ /h (2.1±0.3m ³ /h)	3.0m ³ /h

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視していく。

<使用済燃料プール>

- 1, 5, 6号機使用済燃料プールを冷却中(3, 4号機は燃料取り出し済み)。
- 1号機使用済燃料プール循環冷却系については、制御装置が多重化(A系/B系)されており、そのうち制御装置(A系)の電源装置が故障したことから、交換を行った。制御装置(A系)を使用可能な状態にするための復旧作業に伴い、一時的に下記期間、当該設備の運転を停止する。

(8月29日)午前10時～午後0時

8月28日午前5時現在の1号機使用済燃料プール水温度は、33.4℃であり、放熱を考慮し、停止期間終了時点で約33.5℃と評価している。

なお、制御装置については、制御装置(B系)に自動切換えされた為、使用済燃料プールの冷却に影響はない。

8月29日下記のとおり停止および起動操作を行った。

(停止：午前10時8分)

(起動：午前10時44分)

起動後の運転状態については、異常のないことを確認している。また、使用済燃料プール水温度は、33.1℃(停止時33.1℃)。

引き続き、関連パラメータについて慎重に監視していく。

- 8月9日午後1時5分頃、2号機の使用済燃料プールスキマサージタンクの水位が低下していることを確認。使用済燃料プールの水位については、低下していないことを確認。原因調査のため、午後4時20分に使用済燃料プール冷却系一次系ポンプを停止することとした。午後4時36分、使用済燃料プール冷却系一次系ポンプを停止した。午後4時46分の2号機使用済燃料プール冷却設備のプール水温度は34.5℃。ポンプ停止中の2号機使用済燃料プール冷却設備のプール水温度評価については、運転上の制限である65℃に到達しないことを確認している。なお、温度の初期上昇は0.06℃/h程度、プール水温度は最大で46℃程度と評価している。2号機使用済燃料プール水温度上昇予測の評価値は29日午前11時現在：約45.9℃。
(参考：実測値は約48℃)

【1～6号機の状況】

※プラント関連パラメータ等の詳細については当社ホームページをご参照ください。

<水位・圧力・温度など>

https://www.tepcoco.jp/decommission/data/plant_data/

以上

添付資料

- [過去の実績 \(2024年1月1日以降\) \(302KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2023年12月31日)

- [過去の実績 \(2023年1月1日～12月31日\) \(325KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2022年12月31日)

- [過去の実績 \(2022年1月1日～12月31日\) \(406KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2021年12月31日)

- [過去の実績 \(2021年1月1日～12月31日\) \(480KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2020年12月31日)

- [過去の実績 \(2020年1月1日～12月31日\) \(344KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2019年12月31日)

- [過去の実績 \(2019年1月1日～12月31日\) \(345KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2018年12月31日)

- [過去の実績 \(2018年1月1日～12月31日\) \(292KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2017年12月31日)

- [過去の実績 \(2017年1月1日～12月31日\) \(322KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2016年12月31日午後3時)

- [過去の実績 \(2016年1月1日～12月31日\) \(385KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2015年12月31日午後3時)

- [過去の実績 \(2015年1月1日～12月31日\) \(600KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 平成26年12月31日午後4時)

- [過去の実績 \(平成26年1月1日～12月31日\) \(722KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 平成25年12月31日午後3時)

- [過去の実績 \(平成25年1月1日～12月31日\) \(821KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 平成25年10月22日午後3時)

- [過去の実績 \(平成24年1月1日～12月31日\) \(638KB\)](#)

参考資料（最終更新日時：平成 24 年 4 月 7 日午後 3 時）

- 過去の実績（平成 23 年 3 月 11 日～12 月 31 日）（523KB）

※上記資料の最新版は、【「東北地方太平洋沖地震による影響などについて」実績ファイル】ページをご覧ください。